

## ⑮ 【ながのこどもわくわくカフェ】 (長野市)～信州こどもカフェの事例～



### 1 実施内容

名称	開催場所	開催日	開催時間
ながのこどもわくわくカフェ	権堂イーストプラザ 市民交流センター	月2回 (第1・3火曜日) 9月から第2火曜日も	13時30分～20時
内容	費用	団体名(担当)	電話番号(問い合わせ先)
食事提供、学習支援、 相談事業、子育てサロン	こども:無料 大人:100円	NPO法人ながのこどもの 城いきいきプロジェクト	026-225-5467

### 2 始めたきっかけ

NPO法人ながのこどもの城いきいきプロジェクトは、「長野市もんぜんぶら座こども広場じゃん・けん・ぽん」を運営しているが、親が近所との付き合いが少なく、孤立感や不安感などを感じながら一人で子育てをしている姿が見られた。また、県の調査等では、子ども達の多様で切実なニーズが浮き彫りになっていた。そこで、子どもたちだけでも通うことのできる身近な地域の中に、家庭機能を補完し、個々の子どもや家庭が抱える問題を解決に結びつける居場所の必要性を感じ、そのような場所が地域になかったことがきっかけである。

### 3 実施体制

主体:NPO法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト  
 スタッフ:学生や先生、栄養士など25人  
 サポート:NPO法人長野県NPOセンター、NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド、ライオンズクラブ、まちづくりながの など

## ⑮ 【ながのこどもわくわくカフェ】 (長野市)～信州こどもカフェの事例～



### 4 特徴

時間を分けながら、赤ちゃんから中高生までといった幅広い年齢を対象にしたカフェの開催  
 子育て中の保護者を対象にした子育てサロンの開催

### 5 見えてきたもの

不登校気味の中学生、通信制の高校に通っている学生、友達関係に悩み、ストレスを抱えている小・中学生等様々な子どもたちの姿や、出産以来初めてゆっくりご飯が食べられた等と話す乳幼児の保護者の姿が見られ、学校とは違う、地域の居場所の必要性を感じている

### 6 今後の目指す姿

地域や行政、他の団体、NPOと連携し、それぞれの専門性を生かし、子どもたち一人一人がいきいきと自分の未来に夢と希望を持ち生活ができるような環境づくりや支援を行いたい



## ⑩ 【いいやまこども食堂】 (飯山市) ～信州こどもカフェの事例～



### 1 実施内容

名称	開催場所	開催日	開催時間
いいやまこども食堂	飯山市公民館	月3回 土曜日	学習支援15時30分～17時 食堂17時～20時
内容	費用	団体名(担当)	電話番号(問い合わせ先)
オーガニック食材使用 のこだわりの食事 高校生の学習指導	子ども:無料 大人:300円	いいやまこども食堂 実行委員会(荻原博彦)	090-1730-7954 Eメール: mrhiro114406iiyama@sof tbank.ne.jp

### 2 始めたきっかけ

テレビ番組でこどもの問題からこの国の将来に対して何かしないといけない！と感銘を受けて、NPO信州ホットラインに連絡を取った。そして、実際に運営しているこども食堂を何軒か見学し、市の協力も得て2017年春から立ち上げた。

### 3 実施体制

- ・実施主体:いいやまこども食堂実行委員会
- ・スタッフ:地域住民有志5名(約15名のメンバーからローテーション)
- ・学習スタッフ:飯山高校生徒5名(教職希望25名のメンバーからローテーション)

## ⑩ 【いいやまこども食堂】 (飯山市) ～信州こどもカフェの事例～



### 4 特徴

- 安心・安全で美味しい食事を提供
- ・お米や野菜は、ほぼオーガニック食材を使用  
(自家製野菜や、JAS米を各地から取り寄せ)
  - ・調理の経験から美味しい食事の提供



### 5 見えてきたもの

- ・こどもだけでなく高齢の方々も参加
- ・将来教員希望の高校生の活躍
- ・ボランティアと参加者による地域のふれあいの場



### 6 今後の目指す姿

こども食堂の存在が知れ渡り、一般の方々に、こどもの問題に対してもっと関心を持っていただきたい。

## ⑰ 【ララカフェ豊田】 (中野市) ～信州子どもカフェの事例～

### 1 実施内容

名称	開催場所	開催日	開催時間
ララカフェ豊田	豊田人権センター	毎月第3土曜日	10時～14時
内容	費用	団体名(担当)	電話番号(問い合わせ先)
子どもから高齢者の方まで世代交流の場	子ども:無料 大人:300円	ララカフェ豊田 (城本早月)	0269-38-2209 Eメール: sa-tu-ki-s@ezweb.ne.jp

### 2 始めたきっかけ

寺子屋活動からスタート。寺子屋(午前中)の子ども達にお昼でも提供できないか・・・想いを伝えたボランティア仲間と意気投合！市や社会福祉協議会の協力も得て2017年秋から立ち上げた。

### 3 実施体制

- ・実施主体:ララカフェ豊田
- ・スタッフ:ボランティア仲間や地域住民有志で約20名

## ⑰ 【ララカフェ豊田】 (中野市) ～信州子どもカフェの事例～

### 4 特徴

子どもだけでなく地域住民や高齢の方も参加し、幅広い地域の方々との交流。(紙芝居や本の読み聞かせ 楽器演奏 折り紙 カルタ お手玉等)



### 5 見えてきたもの

- ・子ども食堂はいろいろな姿があっいいい。
- ・高齢者の方と子ども達の交流の場。
- ・地域のよりどころ。
- ・無理をしないで、できることをできる範囲で行う。



### 6 今後の目指す姿

地域で子ども達を育て高齢の方々を見守っていく  
土壌を作りたい。